

提 案 の 概 要

施設名：名古屋市中小企業振興会館

団体名：中小企業振興会館マネジメントグループ

1 管理運営全般について

①施設管理運営の基本方針

本会館の設置目的及び名古屋市産業振興ビジョン 2028 の達成のため下記を基本姿勢とします。

- ・ **新たな交流によるイノベーションの創出**

見本市・展示会等の育成・活性化を図るため新たに首都圏営業チームを配置するとともに、当地域の産業資源を活かした展示会を開催し中小企業のビジネスチャンスを拡大します。

- ・ **リスクマネジメントを考慮した持続可能な維持管理**

専門的見地による改修計画を策定し、老朽化する施設の長寿化・LCC の削減を実現します。また大規模地震や感染症などあらゆる災害リスクに対応可能な危機管理体制を構築します。

- ・ **ネットワークを利用した MICE 誘致**

これまでに培った主催者や業界団体、他施設との連携力を活用して MICE を誘致します。

- ・ **高い利用者満足度を維持する利用者サービスの提供**

利用者目線を軸に、スタッフ教育やサービスの向上を推進します。また利用者のニーズを的確に把握し、催事成功に向けトータルサポートを実現します。

- ・ **公の施設としての公平性・平等性を確保**

高齢者、障がい者、外国人など全ての方々に配慮した平等な施設運営を実施します。

②管理運営体制

これまで 50 年にわたり、市内展示施設・中小企業支援施設を運営してきた公益財団法人名古屋産業振興公社を代表団体として、国際会議や展示会・イベント等、年間 2000 件以上の MICE を運営する株式会社コンベンションリンケージ、本会館の維持管理部門を開館当初から担当し、熟練技術者が多数在籍する名鉄ビルサービス株式会社による 3 社での共同事業体で管理運営を行います。本会館オープン以来の管理経験をベースに、市の産業振興施策や産業振興施設運営管理業務への従事経験が豊富な職員を配置し、安心・安全な管理を行い、顧客満足度の向上を図ります。

2 実施業務の計画について

①指定管理業務

コロナウイルスの流行により商取引の場である見本市・展示会等が減少し、中小企業を取り巻く環境は厳しくなっていますが、本施設の利用を活性化すべく、新体制によるシナジー効果を発揮し、中小企業の販路拡大やイノベーションの創出、SDGs への取組みを加速させます。

- ・ **全国の展示場ネットワークと首都圏営業促進による誘致活動の強化**

構成団体が管理する展示場間ネットワークを構築するとともに、日本トップの PCO による MICE 主催者の多い首都圏営業による誘致活動を強化します。

- ・ **市内 MICE 関連団体や施設との連携による催事の受け入れの強化**

名古屋国際展示場改修工事による休館中の代替施設として市内他施設や名古屋観光コンベンションビューロー等と連携して MICE 受入体制を強化します。

- ・ **高い利用者満足度を維持し続けるためのサービスの展開**

高い水準の利用者満足度を維持し続けるため、入館者カウントシステム等の導入や職員の質を高めます。

- ・ **次期指定管理期間以降も見据えた施設アセットマネジメント**

名鉄ビルサービスのビルマネジメント経験に基づく中長期改修計画を策定します。策定にあたっては、名古屋市の財政や安全性・利便性等を踏まえた実効性のある計画を提案します。

②自主事業

当事業体はこれまで同様、当地域に根差した見本市・展示会を開催するとともに、主催者として培ったノウハウを活用した開催支援を行います。また自主事業実施により利益が生じた場合は、新たな展示会等の原資とし、公益性の高い事業を展開します。

- ・ **当地域の産業構造に適した見本市・展示会等の開催**
 - ・ ものづくりの基盤技術の展示会「TECH Biz EXPO」
 - ・ 福祉・医療・健康の展示会「ウェルフェア」
 - ・ 県内酒造業界及び伝統産業普及イベント「愛知の酒・伝統産業文化の魅力再発見フェスタ」
 - ・ 産業応用プラズマ技術の応用事例を紹介する「プラズマ技術講演会」
- ・ **中小企業支援に資する催事の開催**
 - ・ 革新的技術を有する中小企業等の展示会出展を支援する「中小企業テクノイノベーション」
 - ・ 「ビジネスマッチング講演会・交流会等」
- ・ **産業人材を育成する催事の開催**
 - ・ 子どもたちが職業体験を通じて仕事の楽しみややりがいを醸成する「こどもおしごと体験」

3 収支計画について

①管理運営にかかる費用等

- ・ 稼働率及び収入はコロナウイルス感染症の影響がないものとして設定します。
- ・ 相互利用補助制度の拡大、開催支援助成金制度の新設などにより利用促進を図ります。
- ・ これまで利用料金の引き下げを行っている施設については、稼働率向上の観点から引き続き現在の料金を適用します。
- ・ 新たな設備投資や急激な物価の高騰に対応するため、1年間の周知期間を設け、令和6年度から吹上ホールの利用料金を値上げする予定です。
- ・ 急激な物価の高騰等、社会情勢の変化に対応しつつ、引き続き効率的な施設運営を行い経費の削減を図ります。

【収支】

事 項	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収 入	574,967	586,463	593,070	599,651	608,317
支 出	295,967	285,163	286,270	288,151	288,417
納付金	279,000	301,300	306,800	311,500	319,900